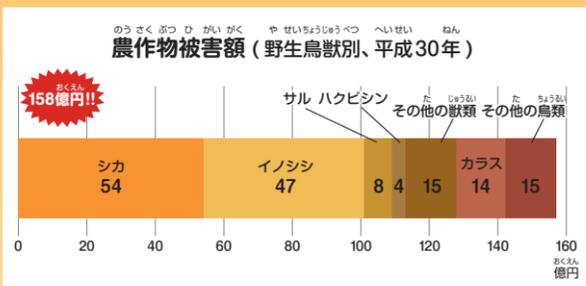


# エコテクのカナメ



## 動物による農作物の被害

最近、イノシシやサル、クマなどが民家の近くに現れたというニュースをよく耳にするよね。農作物が野生動物に食い荒らされる被害もばかにならない。日本全体では、お金でいうと、約158億円\*。シカやイノシシによる被害がとても大きい。このままでは、農作物を作ることをあきらめる人が増え、農地が荒れていくかもしれないなど、深刻な問題だから、国をあげて、さまざまな取り組みを行っているよ。



\*農林水産省「全国の野生鳥獣による農作物被害状況について」

## 【人里に野生動物がやってくる原因(例)】

- ①天敵がいなくなったり減ったりしたために、数が増え過ぎて食べ物に困っている。
- ②鳥や獣の狩りをする資格を持っている人の高齢化が進み、実際に狩りをする人が少なくなったので、人間を恐れなくなった。
- ③人間の食べ物がおいしいことを知って、好んで食べるようになってしまった。



テーマ

## 畑を荒らす動物を、ドローンで撃退!?

# エコテクノ

第19回

世界の環境技術を紹介!



エコテクさん

わしは環境を守る技術の開発をしている技術者じゃ。「エコテクさん」と呼ばれているよ!

7



これが実際の画像。くっきり写っているよね。正確に数を数えられるし、どこからどこへ移動しているかもわかる!

6

シカやイノシシは夜に活動する動物なので、夜中にえさを探して森から畑などの人里にやってくる。そこをドローンで上空から撮影するんだ。



3



こうした被害を防ぐために最近期待されているのが、ドローン!! 今や、美しい景色を空から撮影するだけのものではないのだ。

1



うぎゃ〜、シカが畑を荒らしてる〜。

8

そうすると、今までより効果的にわなを仕掛けたり、狩りをする場所を決めたりすることができるってわけだ。また、ドローンを動物に近づけて、怖がらせ、その場から追い払うこともできる。ドローンの役割はさらに広がっていきそうだね。

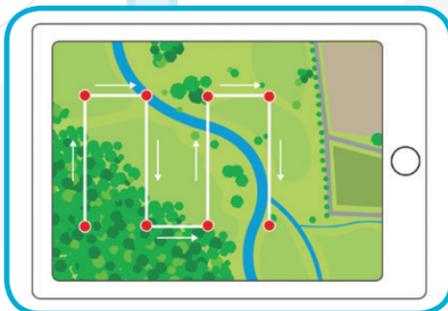


写真提供/群馬県鳥獣被害対策支援センター、(株)スカイシーカー

5

それが今は、赤外線\*で撮影できるカメラ付きのドローンを上空に飛ばして、動物の数や行動を直接調べられるようになった。

\*赤外線: 人の目には見えない光の一つ。人や動物などを含めて、熱を持つすべてのものは、昼も夜も赤外線を出している。



4

これまでは、狩りをする人が捕まえた数や、写真のようなふんの量などから、畑を荒らす動物がどこに、どのくらいいるのか、おおよその数を推定していただけだった。



2



一生懸命に育てた野菜もこんな感じに…。(カナメも見てね)